

平成26年 月 日

各 位

(公財) 日本ソフトボール協会
専務理事 高橋 清生
<公 印 省 略>

試合開始、試合終了の「あいさつ」について

(お願い)

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃よりソフトボール競技の普及・振興にご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

日本体育協会はフェアプレイ宣言の中で、あくしゅ、あいさつ、ありがとう、を呼びかけています。ゲームを始める時、ゲームが出来る事への感謝を込めて対戦相手と審判員に、ゲームが終わった時、互いの健闘を称えあい対戦相手と握手することなどです。

ソフトボール大会でのあいさつを見ていると、ゲーム終了のあいさつの後、相手チームベンチ前まで行ってあいさつをし、バックネット前で役員・審判等にもあいさつをするのを見かけます。両チームともするためホームプレート前が混乱状態となります。それをしないと相手に失礼になると思っている指導者がいるようです。

試合でのあいさつは、試合開始、試合終了各1回で十分です。プレートを挟んでのあいさつは、相手の目を見て、相手選手と相手チームの監督コーチに深く頭を下げあいさつをした後、審判員・役員にも合わせて頭を下げ感謝の気持ちを込めることが大切です。試合終了後は、お互いに健闘を称え握手などして別れることが周囲の皆さんに爽快感を与えます。敗者が落胆してうなだれることなく、お互いの健闘を称えるあいさつにしていきたいと思えます。